

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：児童保護費

事業名【新】使用済みおむつの処分推進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 子ども・女性局 子育て支援課 保育支援係 電話番号：058-272-1111 (内3536)

E-mail：c11236@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 29,600 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	29,600	13,200	0	0	0	0	0	0	16,400
決定額	29,600	13,200	0	0	0	0	0	0	16,400

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

使用済みおむつの処分については、保護者及び保育士の負担軽減を図るため、これまで通例とされてきた保護者の持ち帰りをやめ、保育施設において処分を実施することが推奨されている。(令和5年1月23日付厚労省子ども家庭局総務課少子化総合対策室他通知「保育所等における使用済みおむつの処分について」)そこで、使用済みおむつの処分に係るダストボックスの購入を補助することで、使用済みおむつの処分の保育施設処分を一層推進し、保育士の業務負担の軽減と保護者の持ち帰りの負担を軽減することで、働きやすい職場環境の整備と保育サービスの向上を図る。

(2) 事業内容

保育施設における使用済みおむつの処分を推奨するため、保管用ダストボックス等の購入補助を行う。

①認可保育施設分

- ・ダストボックス等使用済みおむつの施設処分のために必要な備品等の購入費用の補助 (上限30万円/施設)
- ・対象施設想定は保育所、認定こども園、地域型保育事業所

※国の保育対策総合支援事業・保育環境改善等事業のうち、感染症対策のための改修整備等事業 (負担割合：国1/3、県1/3、市町村1/3) を活用。

②認可外保育施設分

- ・ダストボックス等使用済みおむつの施設処分のために必要な備品等の購入費用の補助 (上限20万円/施設)
- ・対象施設想定は認可外保育施設 (岐阜市所管分を除く。)

※国の補助制度の対象からは外れるため、補助率は県1/2、事業者1/2とする。

(3) 県負担・補助率の考え方

①補助率 国 1 / 3、県 1 / 3、市町村 1 / 3 (補助上限額30万円/施設)

<こども家庭庁保育対策総合支援事業費補助金(保育環境改善等事業 感染症対策のための改修整備等事業)活用事業>

②補助率 県 1 / 2、事業者 1 / 2 (補助上限額20万円/施設)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	29,600	保管用ダストボックス等の購入費用の補助
合計	29,600	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県少子化対策基本計画

Ⅲ 働きながら子育てしやすい環境づくり

2 安心して子どもを預けられる受け皿づくり

(1) 幼児期の教育・保育の充実

(2) 後年度の財政負担

働きやすい保育環境の整備と保育サービス向上のため継続的に支援する。

(3) 事業主体及びその妥当性

国庫補助に基づく県負担分及び県所管施設に対する補助であり妥当

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

保育施設における使用済みおむつの処分を推進することで、保育士の業務負担の軽減と保護者の持ち帰りの負担を軽減し、働きやすい職場環境の整備と保育サービスの向上を図る。

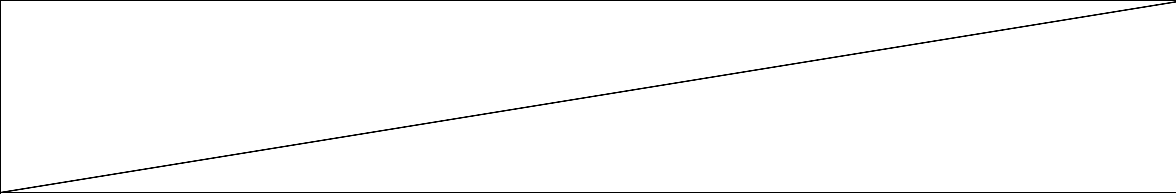
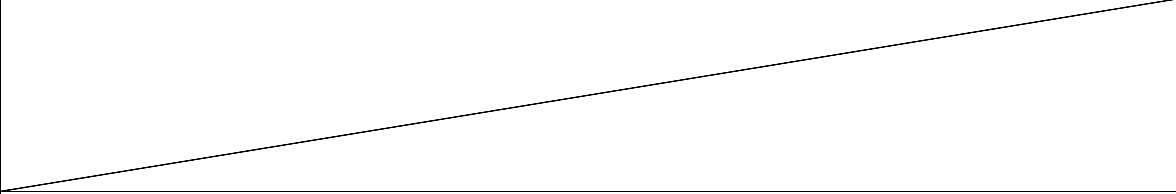
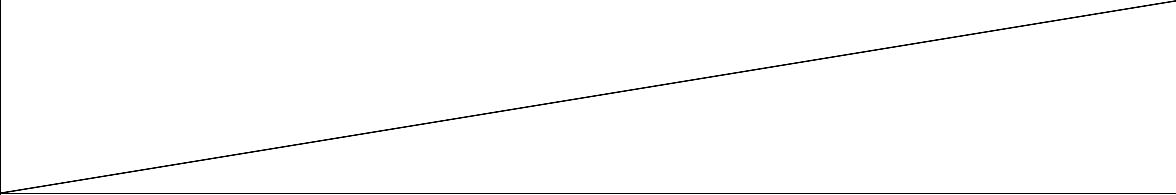
（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

負担軽減の度合いは数値で図ることができないため。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 3 年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)
3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない

(評価)

- ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3:期待以上の成果あり
2:期待どおりの成果あり
1:期待どおりの成果が得られていない
0:ほとんど成果が得られていない

(評価)

- ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている

(評価)

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

国補助を活用し環境を整備した令和7年度以降、認可施設に対し認可外と同様処分費用の補助を行うか、補助内容についての検討が必要となる。

(次年度の方向性)

- ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

働きやすい保育環境の整備と保育サービス向上のため継続的に支援していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課

【〇〇課】

組み合わせて実施する理由
や期待する効果 など